



月曜日の朝が待ち遠しくて ワクワクする職場の話

離職率下げるヒント満載

「人が辞めない会社」になることが中小企業等でとくに重要視されつつあるが、本書では19の成功例を挙げている。いわゆる「3K職場」で離職率ゼロを達成した企業もあり、ユニークなエピソードも多く、楽しく読める。

著者は、結局のところ人間関係が鍵で、経営者以下社員全員が「大家族」のような会社は離職率の低下に成功していると分析する。もっともこれは経営者の資質が問われるところで、単に真似をただけでは「干渉」にしかならないこともある。

ただ、各事例の末尾に「振り返り」として、あらゆる企業に当てはめられる課題を抽出し、読者に問いかける項目が付いている。事例をみながら、翻って自社の現状がどうであるかを考える、良い契機を提供してくれている。

(角田識之著、あさ出版刊、☎03-3983-3225、1400円+税)

デジタルまゆ知識💡 スマホの電池の減りが早い！そんなときは

スマホの電池は、充電と放電を繰り返していくと、徐々に使える時間が短くなってしまいます。ガラケーは電池パック（バッテリー）を買い替えるなどの対応でしのげましたが、最新のスマホは内蔵電池型が増えて、簡単には取り替えられないようになってきています。

こまめに充電することで電池の寿命が短くなるって知っていましたか？ 理想的なのは電池が切れてから充電し、充電が完了したらすぐに電源につないでいるケーブルを外すこと。また、充電するときはシャットダウンしておくことが大事です。

つまり、充電のオンオフを繰り返し、電流を流し続けることが充電電池にとっては負担なのです。少しでも長持ちさせたいなら心掛けておきたいものです。

編集後記

県内でも第2波とみられるコロナの発生が続いています。国内でのコロナ発生からも早半年を過ぎています。

コロナの影響は生活の様々な面に及んでおり、飲食、接待、宿泊、観光、運輸、冠婚葬祭など直接的に影響を受けている業種に限らず、長期に及べば他の業種にもボディーブローのようにじわじわと影響が及んでくるものと思われます。労働の分野では、非正規を中心とした解雇や雇止め、派遣切りなどが増加しているとの報道もなされています。

ただ、恐がってばかりではコロナの思う壺です。感染を防ぐための3密を避けつつ、賢くコロナと共生する生き方を探っていくべきではないでしょうか。

少なくともコロナにり患した人やクラスターを発生させた店などをSNSで誹謗中傷したり、コロナと闘ってくれている医療関係者などを差別したりするなどの行為に及ぶような愚は避けたいものです。

そろそろ、涼しく過ごしやすい秋も近づいています。コロナ疲れを上手に癒しながらコロナの早期終息を願っていきましょう。
(専務理事 鈴木 寿信)